

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第76期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	黒田精工株式会社
【英訳名】	KURODA PRECISION INDUSTRIES LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 黒田 浩史
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
【電話番号】	044 - 555 - 3800
【事務連絡者氏名】	経理部長 荻窪 康裕
【最寄りの連絡場所】	神奈川県川崎市幸区堀川町580番地16
【電話番号】	044 - 555 - 3800
【事務連絡者氏名】	経理部長 荻窪 康裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 黒田精工株式会社 名古屋支店 （愛知県名古屋市名東区上社二丁目243番地） 黒田精工株式会社 大阪支店 （大阪府大阪市淀川区木川東三丁目4番9号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第75期 第1四半期連結 累計期間	第76期 第1四半期連結 累計期間	第75期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	4,111,667	3,607,937	17,754,797
経常利益 (千円)	259,712	95,884	1,230,449
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	185,723	62,158	871,954
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	51,466	21,493	376,455
純資産額 (千円)	8,677,070	8,922,691	9,043,405
総資産額 (千円)	19,509,828	19,490,119	19,909,228
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	33.09	11.05	155.19
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.7	44.9	44.6

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式が存在しないので潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間において、海外関係会社である平湖黒田捷納泰克商貿有限公司の清算が結了いたしましたので、連結の範囲から除外しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続いているものの、米中問題による影響を受け生産活動が停滞するなど、力強さを欠く状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループにおいても昨年の下期以降の景気減速の影響により一部業種からの発注を調整する動きが継続しており受注高は、3,482百万円（前年同期比2,168百万円、38.4%減）となり、売上高も3,607百万円（前年同期比503百万円、12.3%減）と減収結果となりました。

利益面に関しては、売上原価及び販売管理費の抑制に努めたものの売上高の減少による影響を補うには至らず営業利益は140百万円（前年同期比127百万円、47.6%減）、経常利益は為替差損50百万円の影響もあり95百万円（163百万円、63.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円（前年同期比123百万円、66.5%減）と減収減益結果となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

#### ○駆動システム

当セグメントでは、昨年の下期以降、半導体業界等からの発注調整が継続しており、受注高は1,351百万円（前年同期比1,833百万円、57.6%減）となりました。売上高は受注残解消に努めたものの1,765百万円（前年同期比286百万円、13.9%減）となり、営業利益は178百万円（前年同期比74百万円、29.5%減）と減収減益結果となりました。

#### ○金型システム

当セグメントでは、産業用モーター向け金型の受注、売上が減少したこと、大型金型の売上計上時期がずれ込んだことにより、受注高は1,043百万円（前年同期比157百万円、13.1%減）、売上高は819百万円（前年同期比231百万円、22.0%減）となり、営業損失66百万円（前年同期は営業利益8百万円）と赤字計上となりました。

#### ○機工・計測システム

当セグメントでは、受注高は要素機器、システム機器部門ともに低迷し1,102百万円（前年同期比187百万円、14.6%減）となりました。一方売上高は、超精密表面形状測定装置「ナノメトロ<sup>®</sup>」が売上に寄与したことに加え、(株)ゲーシングの売上が好調に推移したことにより1,037百万円（前年同期比3百万円、0.3%増）となり、売上原価及び販売管理費の抑制により営業利益は35百万円（前年同期比22百万円、180.9%増）増収増益結果となりました。

#### (2)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は19,490百万円となり、前連結会計年度末と比較して419百万円減少しました。これは主に有形固定資産等の増加により固定資産が226百万円増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により流動資産が645百万円減少したことによるものです。

負債合計額は10,567百万円となり、前連結会計年度末と比較して298百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金、電子記録債務等の減少により流動負債が147百万円減少したことに加え、長期借入金等の減少により固定負債が150百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は8,922百万円となり、前連結会計年度末と比較して120百万円減少しました。これは主に配当に伴う利益剰余金の減少等により株主資本合計が78百万円減少したことに加え、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定等の減少によりその他の包括利益累計額が52百万円減少したことによるものです。

#### (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は75,088千円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,960,000
計	14,960,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,628,566	5,648,704	東京証券取引所 (市場第二部)	完全議決権株式であり権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり単元株式数は100株であります。
計	5,628,566	5,648,704	-	-

(注) 当社は、2019年6月27日開催の取締役会決議により、譲渡制限付株式報酬として、2019年7月26日付で新株式を20,138株発行いたしました。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	5,628,566	-	1,883,557	-	477,307

(注) 提出日現在において、2019年7月26日を払込期限とする特定譲渡制限付株式発行に伴い、発行済株式総数が20,138株、資本金及び資本準備金がそれぞれ8,558千円増加しております。

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 7,400	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,611,400	56,114	同上
単元未満株式	普通株式 9,766	-	-
発行済株式総数	5,628,566	-	-
総株主の議決権	-	56,114	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式58株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 黒田精工株式会社	神奈川県川崎市幸区堀川町 580番地16	7,400	-	7,400	0.13
株式会社ゲーシング	神奈川県横浜市都筑区佐江戸町786-5	500	-	500	0.00
計	-	7,900	-	7,900	0.13

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,648,546	2,293,194
受取手形及び売掛金	1,233,646,597	1,233,141,197
電子記録債権	88,680	86,849
商品及び製品	905,330	903,142
仕掛品	1,680,517	1,781,159
原材料及び貯蔵品	875,288	1,017,480
その他	281,704	257,529
貸倒引当金	8,643	8,181
流動資産合計	10,118,021	9,472,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,281,522	2,260,920
土地	1,869,755	1,869,755
その他(純額)	2,077,056	2,369,674
有形固定資産合計	6,228,334	6,500,350
無形固定資産		
のれん	915,920	867,757
その他	230,359	212,163
無形固定資産合計	1,146,280	1,079,920
投資その他の資産		
投資有価証券	1,662,158	1,622,759
その他	755,884	816,167
貸倒引当金	1,451	1,450
投資その他の資産合計	2,416,591	2,437,476
固定資産合計	9,791,207	10,017,747
資産合計	19,909,228	19,490,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,292,785	1,181,891
電子記録債務	1,949,813	1,779,836
短期借入金	1,656,903	1,920,561
未払法人税等	344,151	101,480
賞与引当金	362,455	529,869
受注損失引当金	7,471	11,520
その他	1,073,594	1,014,458
流動負債合計	6,687,173	6,539,620
固定負債		
長期借入金	1,676,311	1,512,903
役員退職慰労引当金	14,116	15,204
環境対策引当金	114,037	87,754
退職給付に係る負債	1,490,506	1,515,002
長期末払金	203,300	204,221
その他	680,376	692,721
固定負債合計	4,178,649	4,027,807
負債合計	10,865,823	10,567,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,883,557	1,883,557
資本剰余金	1,485,902	1,485,902
利益剰余金	3,754,406	3,676,036
自己株式	9,191	9,191
株主資本合計	7,114,675	7,036,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	632,255	600,825
土地再評価差額金	814,401	814,401
為替換算調整勘定	317,606	293,872
退職給付に係る調整累計額	4,181	6,880
その他の包括利益累計額合計	1,768,444	1,715,979
非支配株主持分	160,285	170,405
純資産合計	9,043,405	8,922,691
負債純資産合計	19,909,228	19,490,119

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,111,667	3,607,937
売上原価	2,933,890	2,587,734
売上総利益	1,177,777	1,020,202
販売費及び一般管理費	910,073	879,992
営業利益	267,703	140,210
営業外収益		
持分法による投資利益	935	902
設備賃貸料	7,207	8,021
ロイヤリティ	15,118	11,569
保険解約返戻金	-	15,669
その他	15,581	13,022
営業外収益合計	38,843	49,185
営業外費用		
支払利息	15,391	15,145
売上割引	10,239	7,947
為替差損	-	50,500
その他	21,203	19,916
営業外費用合計	46,834	93,511
経常利益	259,712	95,884
特別損失		
固定資産除却損	217	3
子会社清算損	-	8,097
特別損失合計	217	8,100
税金等調整前四半期純利益	259,494	87,784
法人税、住民税及び事業税	141,161	98,322
法人税等調整額	68,734	83,437
法人税等合計	72,426	14,885
四半期純利益	187,068	72,898
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,345	10,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,723	62,158

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	187,068	72,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70,872	31,429
為替換算調整勘定	62,337	22,674
退職給付に係る調整額	2,391	2,699
その他の包括利益合計	135,602	51,405
四半期包括利益	51,466	21,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,307	9,693
非支配株主に係る四半期包括利益	1,159	11,799

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、海外関係会社である平湖黒田捷納泰克商貿有限公司の清算が完了いたしましたので、連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	22,019千円	19,296千円
2 受取手形割引高		

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形割引高	513,052千円	261,133千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
減価償却費	163,718千円	174,704千円
のれんの償却額	17,146千円	16,312千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	70,157	利益剰余金	12.50	2018年3月31日	2018年6月29日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	配当の原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	140,527	利益剰余金	25.00	2019年3月31日	2019年6月28日

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,048,139	1,045,248	1,018,279	4,111,667	-	4,111,667
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,142	5,524	16,079	24,745	24,745	-
計	2,051,282	1,050,772	1,034,359	4,136,413	24,745	4,111,667
セグメント利益	253,587	8,811	12,517	274,916	7,213	267,703

(注)1 セグメント利益の調整額 7,213千円は、セグメント間取引消去 1,815千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費 5,398千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,762,114	819,563	1,026,258	3,607,937	-	3,607,937
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,128	-	11,700	14,828	14,828	-
計	1,765,242	819,563	1,037,959	3,622,765	14,828	3,607,937
セグメント利益又は損失 ( )	178,883	66,356	35,165	147,691	7,481	140,210

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 7,481千円は、セグメント間取引消去 977千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費 6,504千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	33円09銭	11円05銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	185,723	62,158
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	185,723	62,158
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,612	5,620

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

黒田精工株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 柏木 忠 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小野 潤 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている黒田精工株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、黒田精工株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。